

後期基本計画 令和元年度 基本施策方針評価書

政 策 : 06 次代を担う人材の育成と、持続可能な行財政経営を進める部門

基本施策 : 02 総合計画の推進と未来の価値の創造

主管課長職・氏名	企画政策課長 木下 昇三
関係課長職・氏名	

1. 基本施策の令和元年度までの実現状況を明らかにする

(1) 基本施策が4年間でめざす姿

		<p>4年後における滝沢市全体の目標は総合計画の達成であり、当基本施策ではそれに向けた総合計画の全体進捗の的確な管理を行います。</p> <p>また、さらにその先を見据え、多様化が進む中での未来における滝沢市の価値づくりを進めます。</p>
--	--	--

(2) 基本施策目標値の達成状況

No	この基本施策に関わる基本施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和4年度	進捗率(%)
1	暮らし 総合計画を知っている人の割合 単位 %	15.6	24.4	33.4	42.4	50	50	C
			17.3	-	-	-	-	4.9
2	幸福 滝沢市で幸せに暮らしている人の割合 単位 %	58.8	62.5	65	67.5	70	70	B
			65.4	-	-	-	-	58.9
	単位							

(3) 基本施策を構成する施策及び目標値の達成状況

No	施策名 施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和4年度	進捗率(%)
1	暮らし 06020100 総合計画を軸としたマネジメントの推進 滝沢市は住みやすい市だと感じている人の割合 単位 %	68.6	75.6	77.1	78.5	80	80	C
			70.6	-	-	-	-	17.5
2	暮らし 06020200 未来に向けた滝沢の価値の創造 滝沢市に愛着がある人の割合 単位 %	69.2	76	77	79	80	80	D
			69.1	-	-	-	-	△0.9
3	暮らし 06020300 価値の創造に向けた情報の発信と活用 普段の生活に必要な情報が伝わっていると感じている人の割合 単位 件	44	50	55	58	60	60	B
			52	-	-	-	-	50.0
	単位							
	単位							

後期基本計画 令和元年度 基本施策方針評価書

政 策：06 次代を担う人材の育成と、持続可能な行財政経営を進める部門

基本施策：02 総合計画の推進と未来の価値の創造

主管課長職・氏名	企画政策課長 木下 昇三
関係課長職・氏名	

2. 基本施策の実現に向けての令和元年度までの取り組み状況を分析する

(1) 基本施策目標の達成（実現）に向けた計画期間内の取り組みと方針についての達成（実現）状況

B	概ね達成した
<ul style="list-style-type: none"> 総合計画を軸としたマネジメントを推進するため意思決定及び庁内の情報共有を進めるため庁議、政策調整報告会議、部長調整会議等の事務調整を行いました。 市民の声、意見、ニーズ等をしっかり捉えるため、地域社会アンケートの実施と報告書の作成、市政懇談会の実施（11地区、285人）、市長との座談会（5団体、60人）などを実施するとともに実施した内容等について広報やホームページ等に掲載することで情報の共有に努めました。 未来を見据えた事業企画やネットワークの構築を進めるため、タキザワコレカラカイギの実施、新しいインターンシップの実施方法の試み、ツアーづくりスクールの開催など地域愛着、学連携の視点から進めました。 	

(2) 基本施策内の取り組みと方針のうち、令和元年度の重点課題の達成（実現）状況

B	概ね達成した
<p>【重点課題】</p> <p>総合計画の確実な推進、地方創生の推進、新たな対話と連携の構築、未来のための事業企画、国勢調査の準備</p> <p>【重点課題に対応した達成状況】</p> <p>総合計画に推進については展開戦略について方向性を示しました。地方創生の推進については、第2期創生総合戦略を策定しました。対話と連携の構築、事業企画については、新しいインターンシップの実施、ツアーづくりスクールの開催など新たな試みを実施しました。国勢調査については、事務調整及び調査員公募の試みや自治会との調整等を行いました。</p>	

3. 基本施策の実現に向けての令和元年度実施後での変化を認識する

(1) 基本施策の実現に影響する社会環境変化

B	社会環境変化あり
<p>【外部環境】</p> <p>新型コロナウイルス感染症の流行、新型コロナウイルス感染症の流行受けての市民の価値観（意識）変化（多様化）</p> <p>【内部環境】</p> <p>新型コロナウイルス感染症の流行による仕事の優先順位等の変化</p> <p>【環境変化と対応の認識】</p> <p>コロナ禍において人の価値観、生活様式、仕事の仕方など大きく変化しており、今後も更なる変化が予想されることから、現行の総合計画との関係性を含め施策の検討が必要です。</p>	

(2) 政策との関連性から基本施策の見直し

A	必要なし
<p>政策達成のため軸となる基本施策であり見直しの必要性はないが、コロナ禍の影響を踏まえた検討も必要となる可能性があります。</p>	

4. 基本施策の実現に向けての今後の取り組みと方向性を明らかにする

(1) 令和 3年度方針策定に際し、今後の方向性や引継課題

A	課題なし
<p>【今後の方向性】</p> <p>総合計画の推進のため未来に向けた事業企画がさらに必要です。 コロナ禍の影響を受け総合計画の施策、事務事業の再考を検討する必要があります。</p> <p>【引継課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> コロナ禍における総合計画の施策、事務事業等の再考の検討 まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進、国土強靱化計画の推進 未来を見据えた新たな事業企画及び連携、人的ネットワークの構築 市民への情報提供のあり方の再構築 次期総合計画策定のための調査研究 	

